

「議員、官僚、大企業、警察等の信頼感」調査 (調査結果の概要)

2010年3月16日
社団法人 中央調査社
CENTRAL RESEARCH SERVICES, INC.
東京都中央区銀座 6-16-12
電話 03-3549-3121

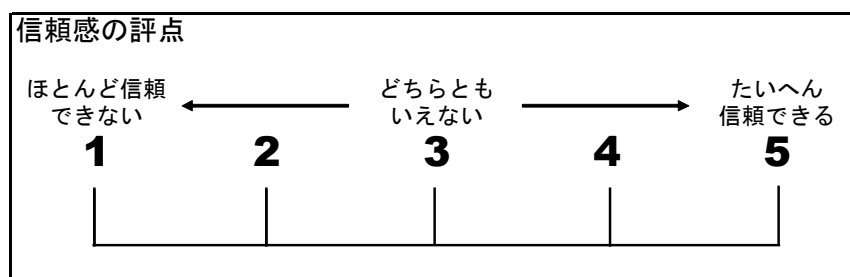
世論調査、市場調査の専門機関である社団法人 中央調査社（会長 中田 正博）は、「国会議員」「官僚」「裁判官」「マスコミ」「銀行」「大企業」「医療機関」「警察」「自衛隊」「教師」の信頼感に関する意識調査を実施しました。調査は、2009年12月4日から14日にかけて、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行い、1,258人から回答を得ました。主な調査結果は以下のとおりです。

なお、この調査は、2000年3月、2001年12月、2004年5月、2007年7月、2008年8月にも実施しており、今回は6回目となります。

- －「官僚」「国会議員」に対する信頼感は依然として低迷－
- －「信頼されるよう努力してほしい」のは「国会議員」「官僚」の順－
- －「情報公開が進んでいないと思う」機関トップは「官僚」－

1. 信頼感

国会議員、官僚、裁判官、マスコミ、銀行、大企業、医療機関、警察、自衛隊、教師に対する信頼感を、「ほとんど信頼できない」の評点「1」から「たいへん信頼できる」の評点「5」の5段階で評価してもらった。



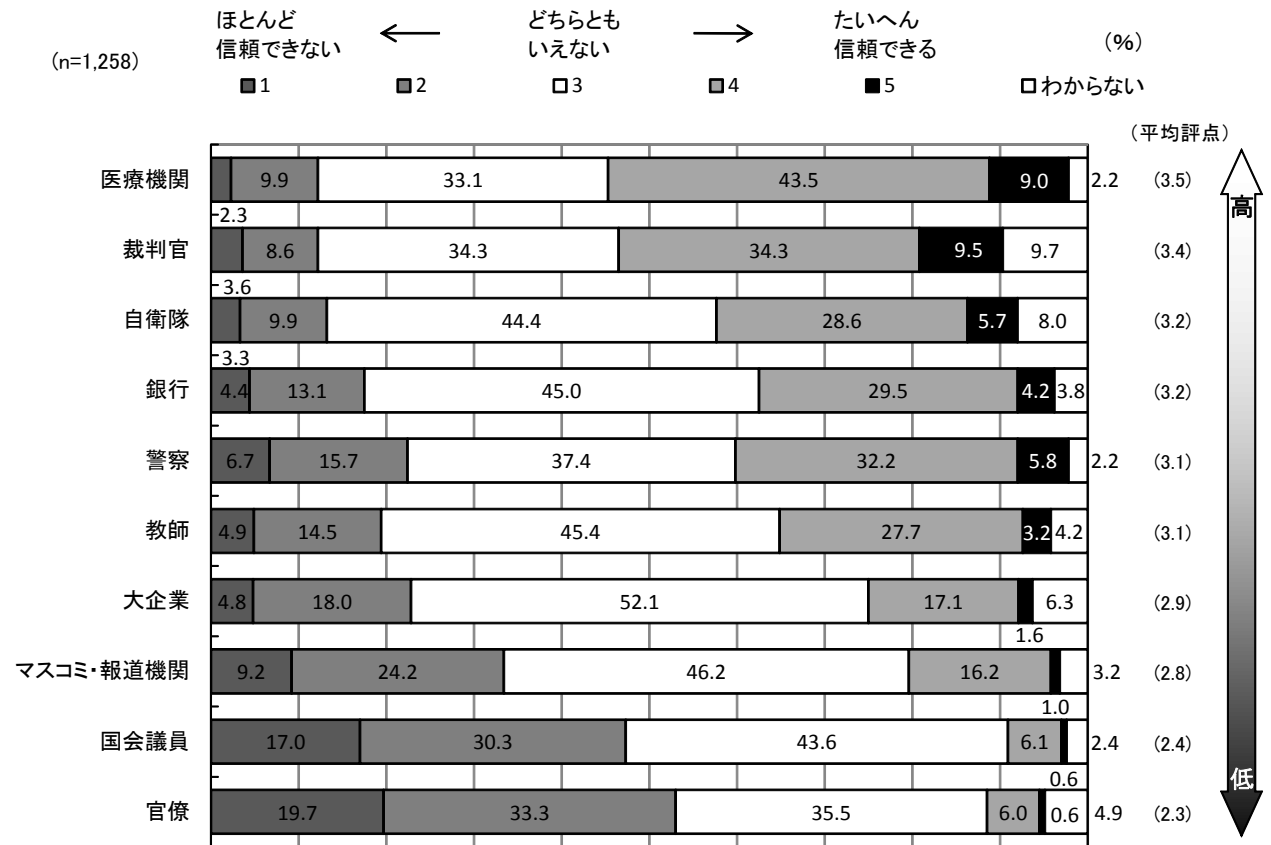
平均評点が高かったのは、医療機関（3.5）と裁判官（3.4）である。医療機関に対する評点は2004年調査では、低下（2.9）したが、2007年調査以降、上昇傾向が続いている。裁判官はやや低下傾向にあったが、今回調査では前回調査（3.1）より上昇した。次いで、自衛隊と銀行（共に3.2）、警察と教師（共に3.1）の評点が高いが、自衛隊は評点を0.1ポイント下げ、銀行と警察は横ばい、教師は0.2ポイントの上昇となっている。

一方、官僚と国会議員に対する平均評点はそれぞれ2.3、2.4と低く、前回よりそれぞれ評点を0.2ずつ上げたものの、「信頼できない」として評点「1」や「2」をつけた人の割合は官僚で53%にのぼ

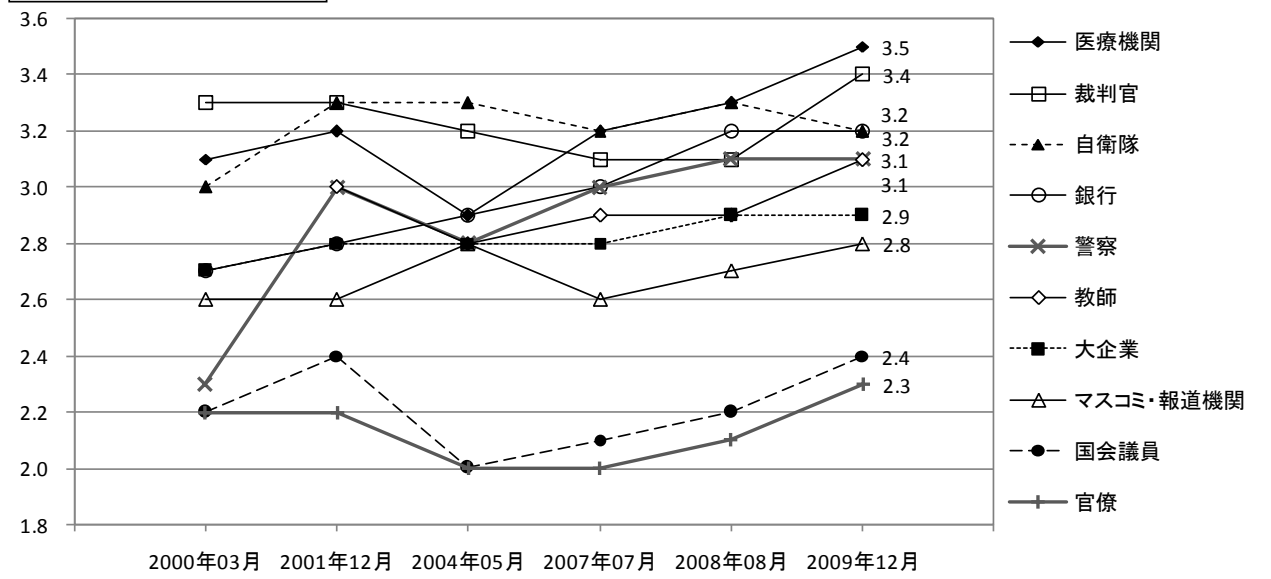
るが、前回調査（63%）と比べると10ポイント減少している。国会議員も47%と5割に近いが、前回（56%）に比べると9ポイントの減少となっている。官僚と国会議員に対する平均評点は2.0~2.4と低迷しており、今回調査においてもその傾向は変わらないが、前回につづきやや上昇した。

信頼感

問. ここにあげた日本の機関や団体などについて、あなたはどの程度信頼できると感じますか。「たいへん信頼できる」を5、「ほとんど信頼できない」を1として、それぞれについて5段階で評価してください。



信頼感: 平均評点の推移



※「教師」は2001年12月調査から調査開始

2. 信頼されるよう努力してほしい機関・団体

「国民に信頼されるよう努力してほしい」機関・団体としては、「国会議員」を半数以上（63%）の人が1番目にあげている。

3番目まであげてもらった合計でも「国会議員」83%が最も多く、次いで、大差で、「官僚」53%、「警察」35%の順となった。

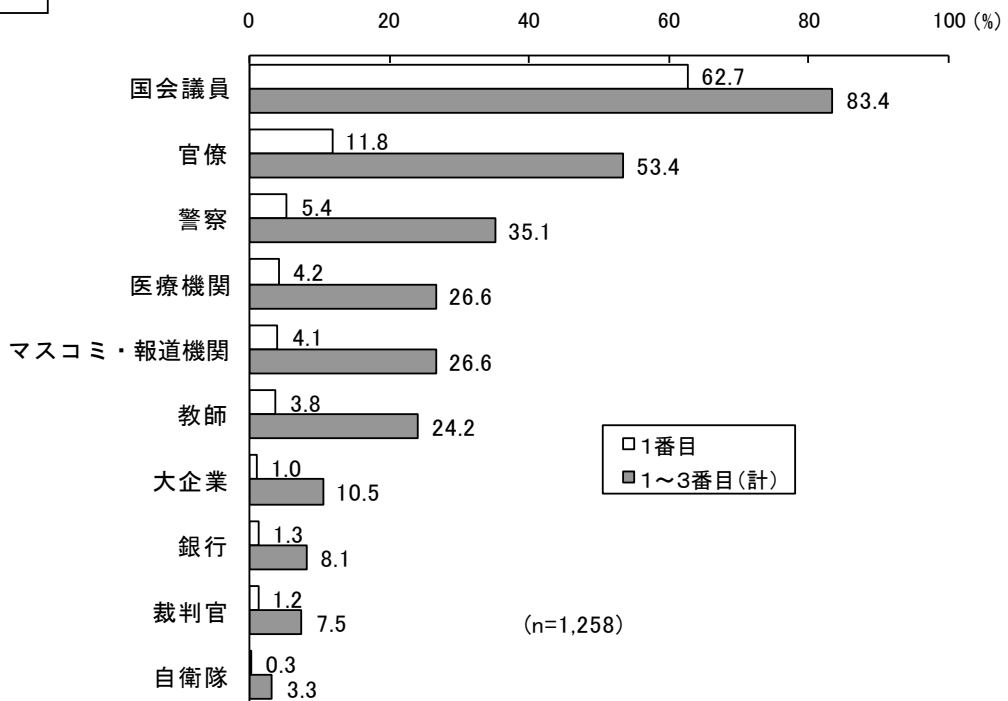
「国会議員」は過去の調査でもトップにあげられているが、1番目にあげた人の比率は前回（53%）から10ポイントの上昇、1～3番目の合計比率は前回（76%）から7ポイントの上昇と、上昇幅が大きい。「政治とカネ」の問題が影響したとみられる。

これに対し、「官僚」は、1番目にあげた人の比率が前回（21%）から9ポイントの低下、1～3番目の合計比率が前回（61%）から8ポイントの低下となっており、官僚不信がやや払拭された感がある。

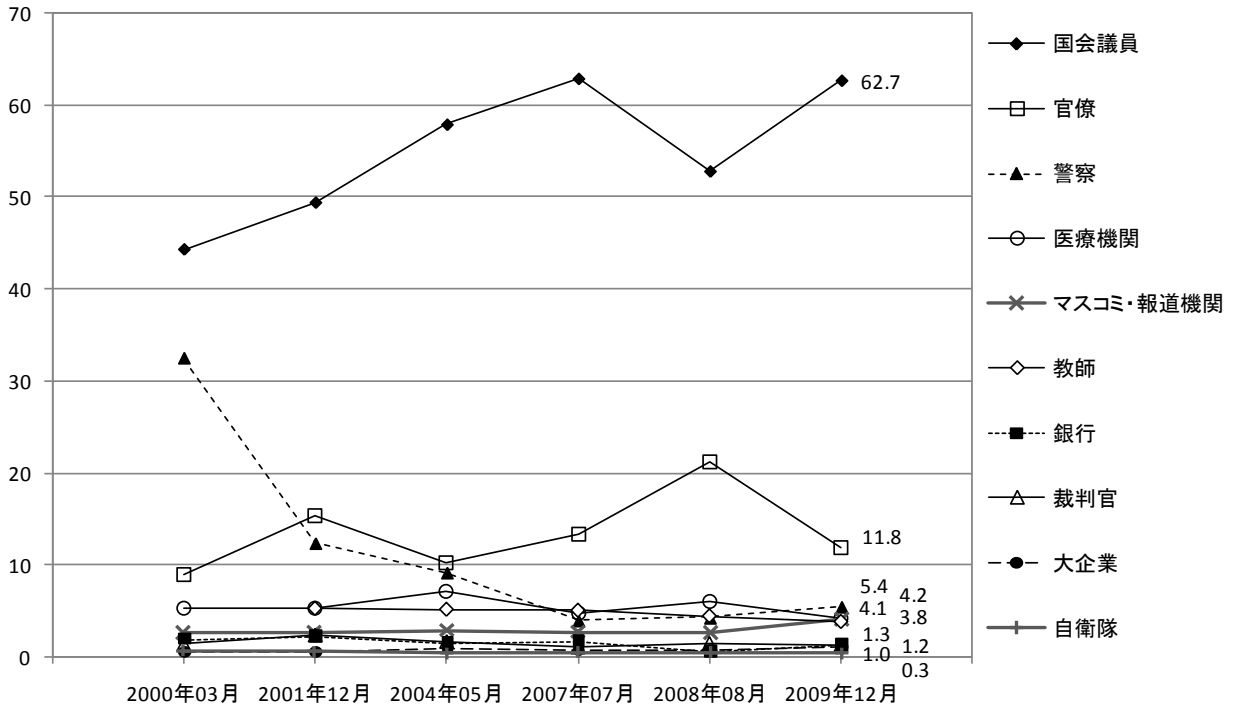
また、「警察」の1～3番目の合計比率は低下傾向にあったが、今回調査では、前回（30.2%）から5ポイントの上昇となった。しかしながら、1番目であげられた比率は1ポイントの増加にとどまっていることや、信頼感の質問の結果が前回と同じであったことから、信頼度に大きな変化があるとは言えないようだ。

信頼されるよう
努力してほしい

問. あなたがいま、国民にもっと信頼されるよう努力して欲しいと思う日本の機関や団体は、この中ではどれですか。強く感じるものから順に、3つまであげてください。

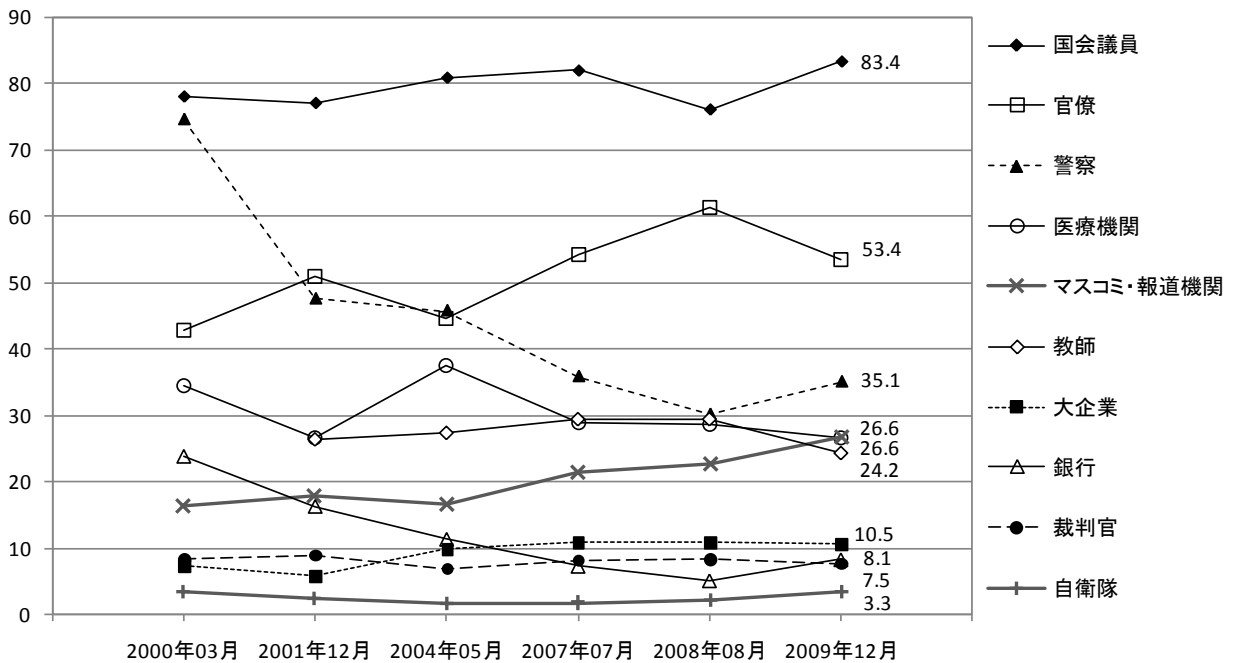


信頼されるよう努力してほしい: 1番目の推移(%)



※「教師」は2001年12月調査から調査開始

信頼されるよう努力してほしい: 1~3番目(計)の推移(%)



※「教師」は2001年12月調査から調査開始

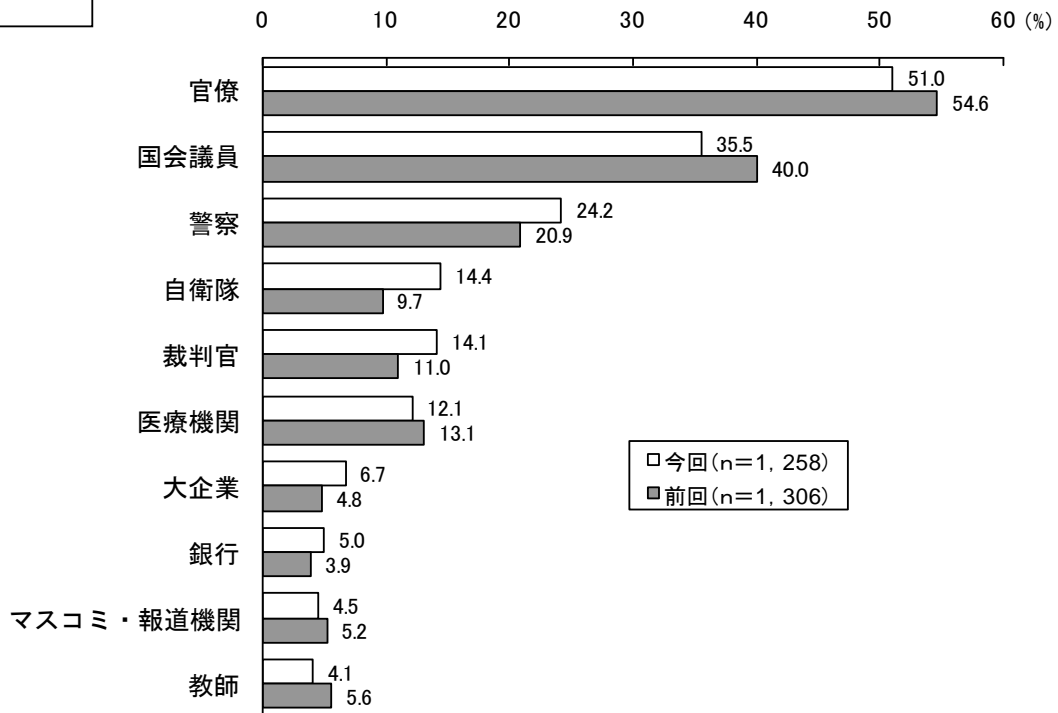
3. 閉鎖的な機関・団体(国民に対する情報公開)

「閉鎖的で、国民に対して情報公開が進んでいないと思う」機関・団体を2つまであげてもらったところ、「官僚」が51%と半数を上回ってトップにあげられたが、前回調査(55%)に比べ4ポイントの低下となっている。次いで多い、「国会議員」(36%)も前回調査(40%)より4ポイント低下している。

以下は、「警察」24%、「自衛隊」と「裁判官」が共に14%と続き、これらは3～5ポイントの上昇となっている。

閉鎖的で情報公開が進んでいない

問. 国民に対して閉鎖的で、情報公開が進んでいないと思われるものをこの中から、2つまであげてください。



(調査の設計・方法など)

- (1) 調査地域 全 国
- (2) 調査対象 満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 4,000
- (4) 抽出方法 層化三段無作為抽出法
- (5) 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- (6) 調査時期 2009年12月4日～14日
- (7) 有効回収数 1,258

(問い合わせ先) 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
 社団法人 中央調査社 (担当 園山)
 TEL 03-3549-3121 FAX 03-3549-3126
 ホームページ : <http://www.crs.or.jp>